



高浜町の児童・生徒の 学力や生活習慣は？

【高浜町教育委員会】

●調査概要

- 調査実施日 令和3年5月27日（木）
- 実施人数 小学校6年生 90名／中学校3年生 112名
- 実施教科 【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学

※調査結果について 教科や出題範囲が限られていることから、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部分です。

教科に関する調査結果概要および傾向

【小学校】

- 小学校は、国語、算数の調査を行いました。福井県は、両科目ともに正答率が全国平均を上回っています。本町においても、両科目とも正答率は全国平均を上回っておりますが、県平均は下回る結果となりました。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国語

- 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけること
- 目的や意図に応じ、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- 文の中における主語と述語との関係を捉えること
- △文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること
- △文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること
- △学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

算数

- 2つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること
- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えや式を言葉を用いて記述すること
- 条件に合う時刻を求めること
- △速さを求める除法の式と商の意味を理解すること
- △速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること
- △データを二次元の表に分類整理すること

【中学校】

- 中学校は、国語、数学の調査を行いました。福井県は、両科目ともに正答率が全国平均を上回っています。本町においては、国語は全国平均を上回るものの県平均を下回り、数学に関しては全国平均・県平均ともに下回る結果となりました。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国語

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと
- 話合いの話題や方向性を捉えること
- △相手や場に応じて敬語を適切に使うこと
- △登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること
- △文脈の中における語句の意味を理解すること

数学

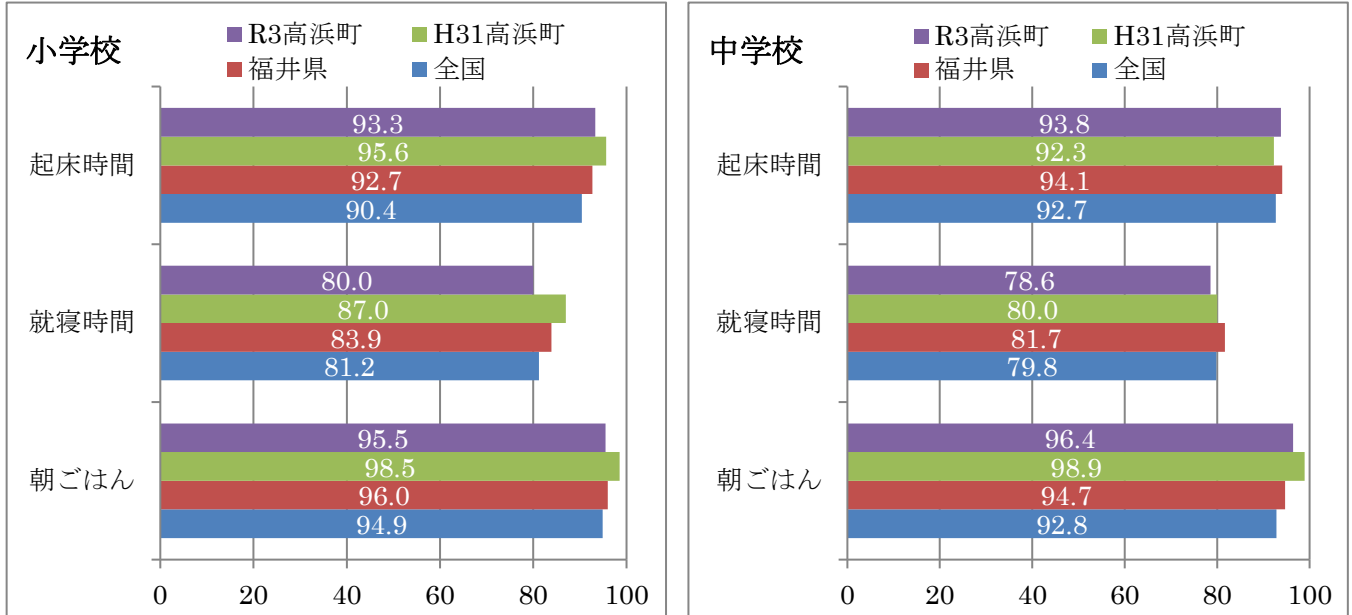
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明すること
- 与えられたデータから中央値を求めること
- △錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解すること
- △具体的な場面で、一元一次方程式をつくること
- △ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること

●高浜町の児童生徒の学習習慣や生活習慣の結果 ～児童生徒質問紙調査から～

※新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は本調査を実施していないため、経年比較は前回実施時の平成31年度（令和元年度）との比較になっています。

生活習慣に関する調査結果

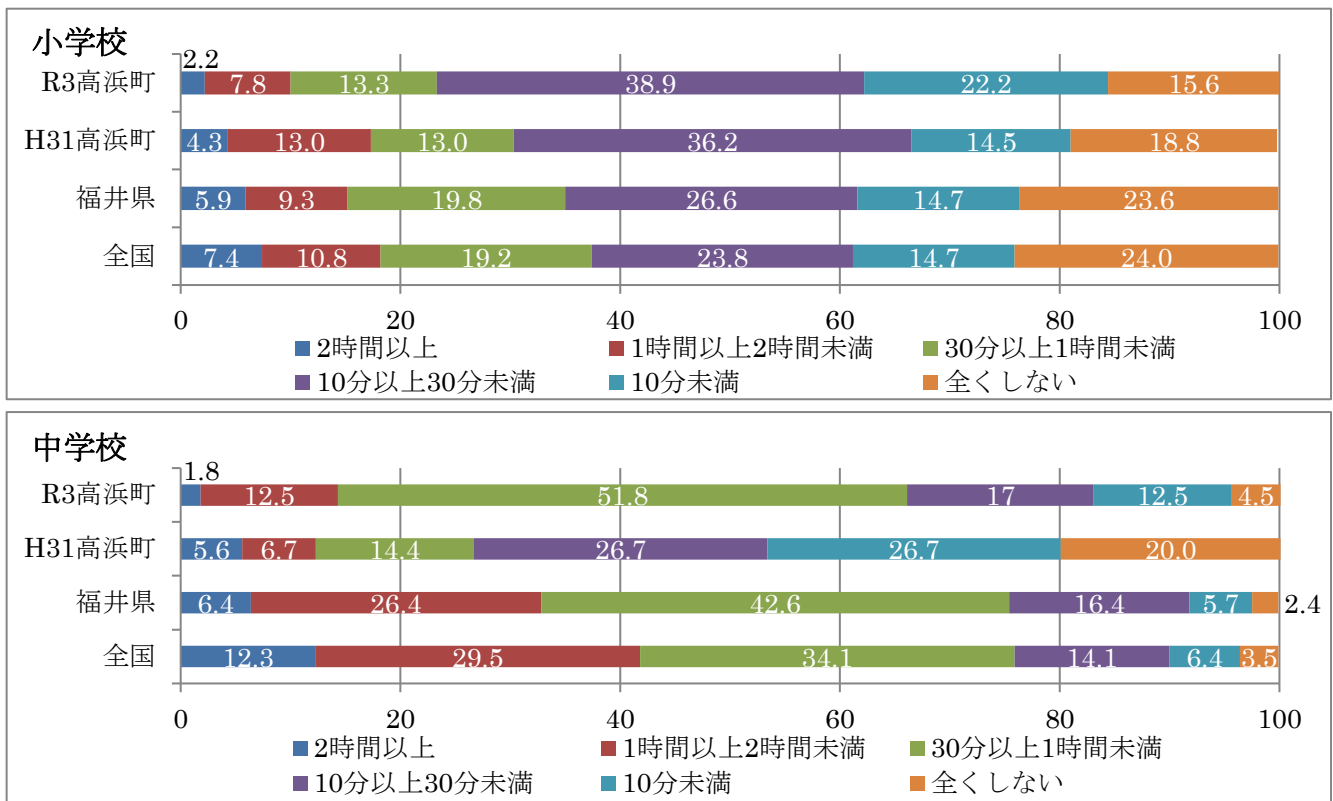
- ◆毎日同じ時間に起きている（起床時間） ◆毎日同じ時間に寝ている（就寝時間）
- ◆朝ごはんを毎日食べている 3項目について、「している」「どちらかというとしている」の合計値（単位：％）



○大半の児童生徒が毎日同じ時間に起床、就寝する、朝ごはんを食べる等の基礎的な生活習慣は身につけているといえます。

学習習慣に関する調査結果

- ◆学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい勉強をしているか

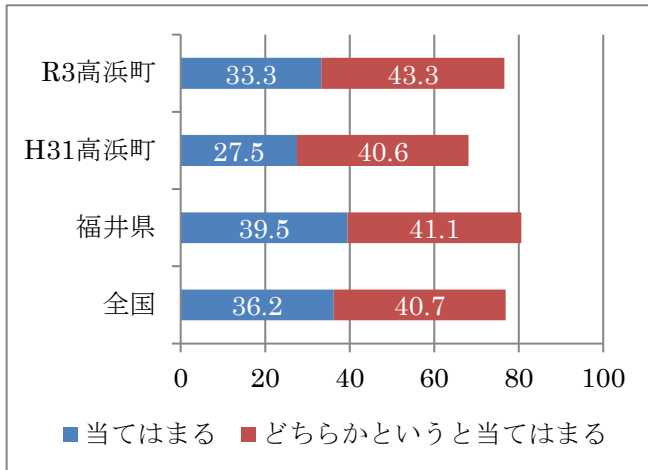


○H31年度と比較すると、勉強を全くしない児童生徒の割合が減少しており、家庭での学習機会が増えています。また、中学校においては学習時間も大幅に伸びています。

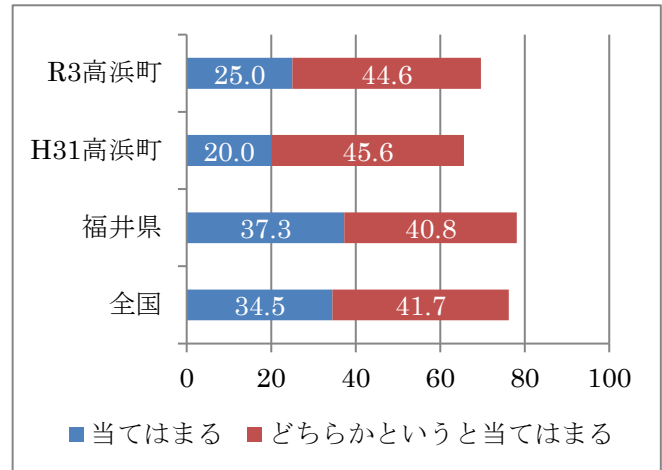
自己肯定感、将来の目標、いじめへの意識に関する調査結果

【自分にはよいところがあると思う】

小学校



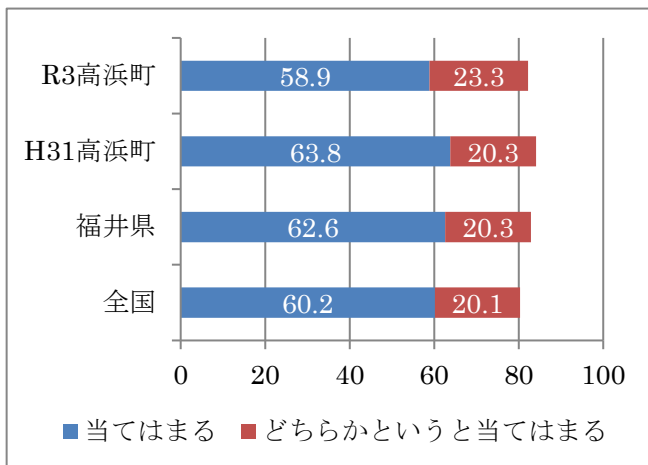
中学校



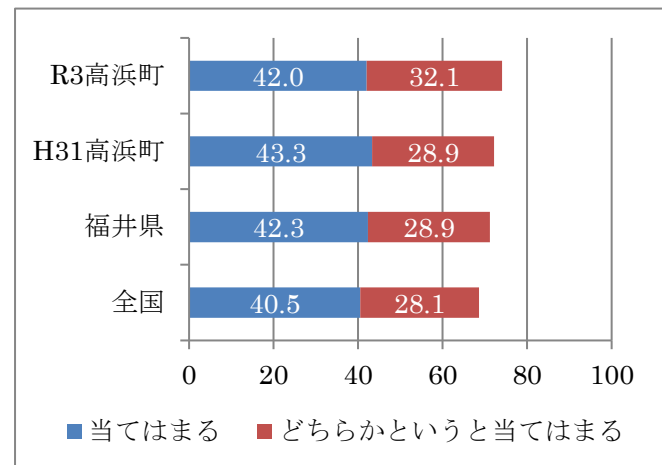
○全国・県平均を下回るものの、H31年度と比較すると「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合が増えており、自分に自信が持てている児童生徒が増えています。

【将来の夢や目標を持っている】

小学校



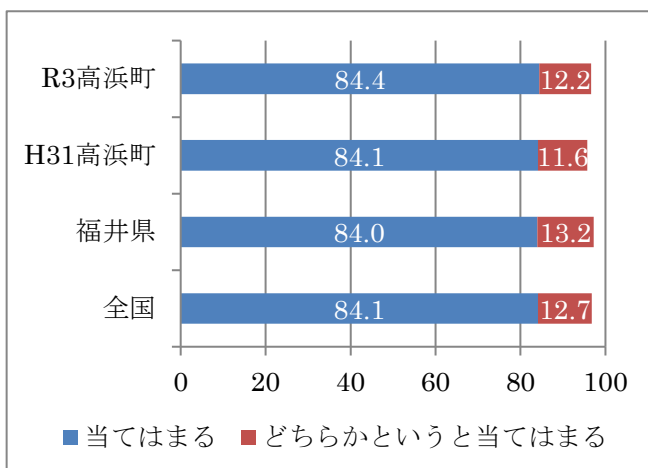
中学校



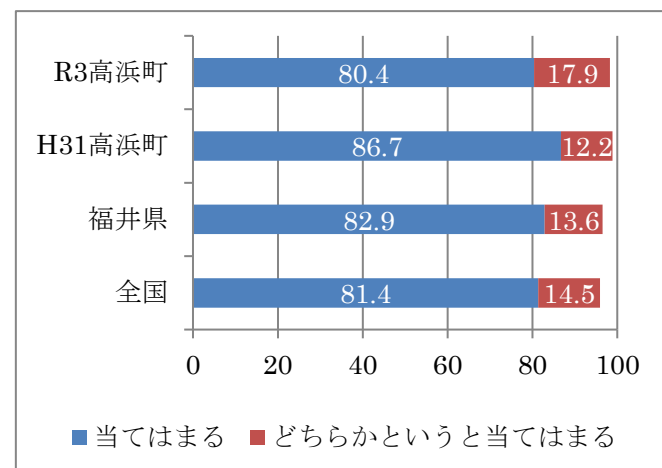
○小学校では8割以上、中学校では7割以上の子どもたちが、「将来の夢や目標を持っている」と回答しています。

【いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う】

小学校



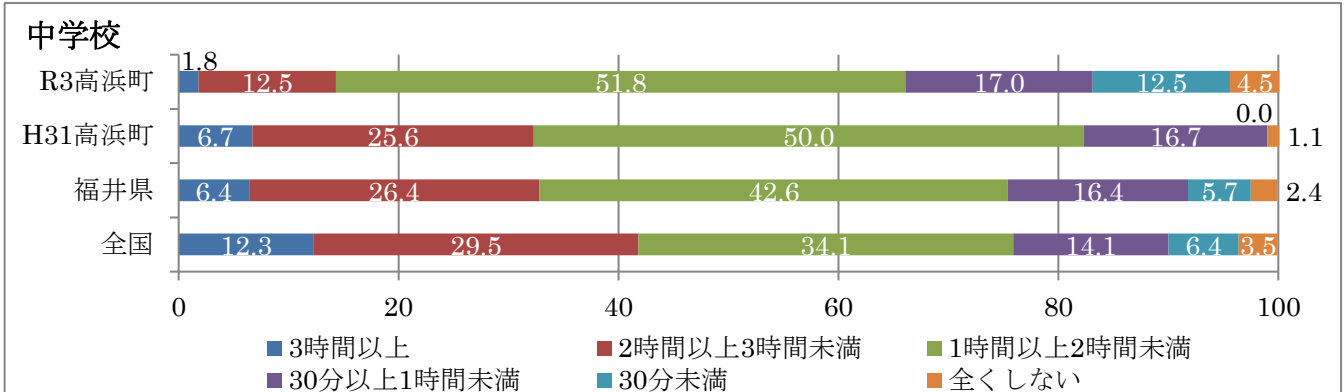
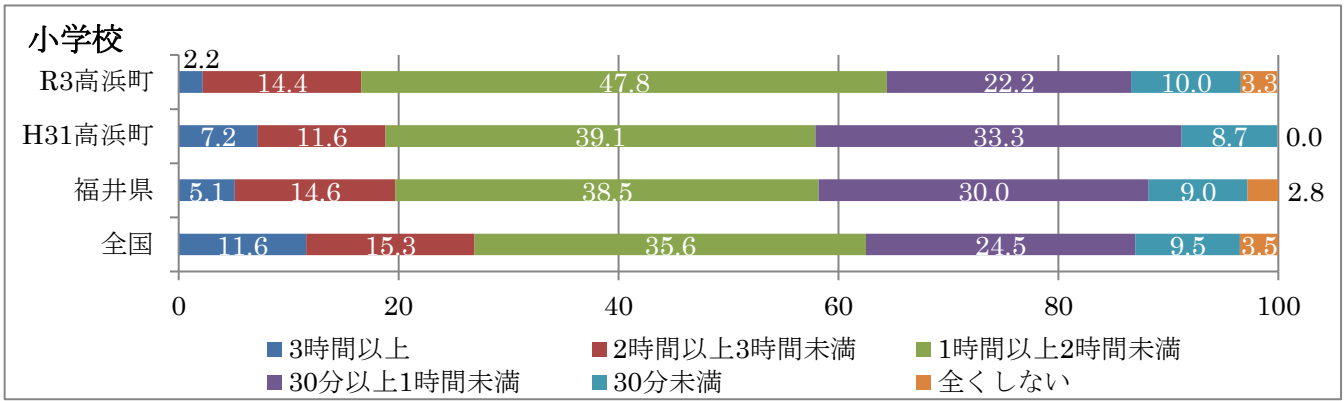
中学校



○ほぼ全ての児童生徒が「いじめはいけない」という意識を持っています。

読書習慣に関する調査結果

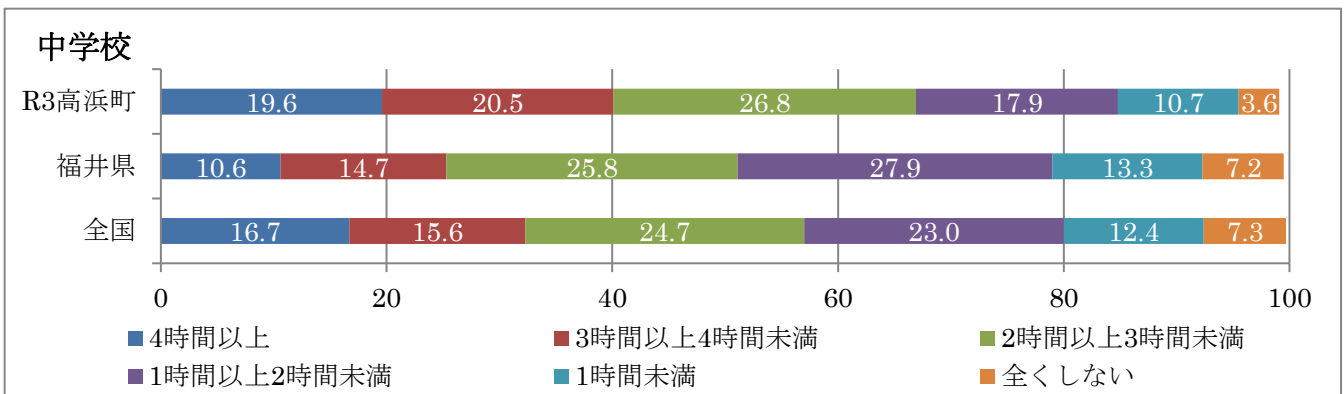
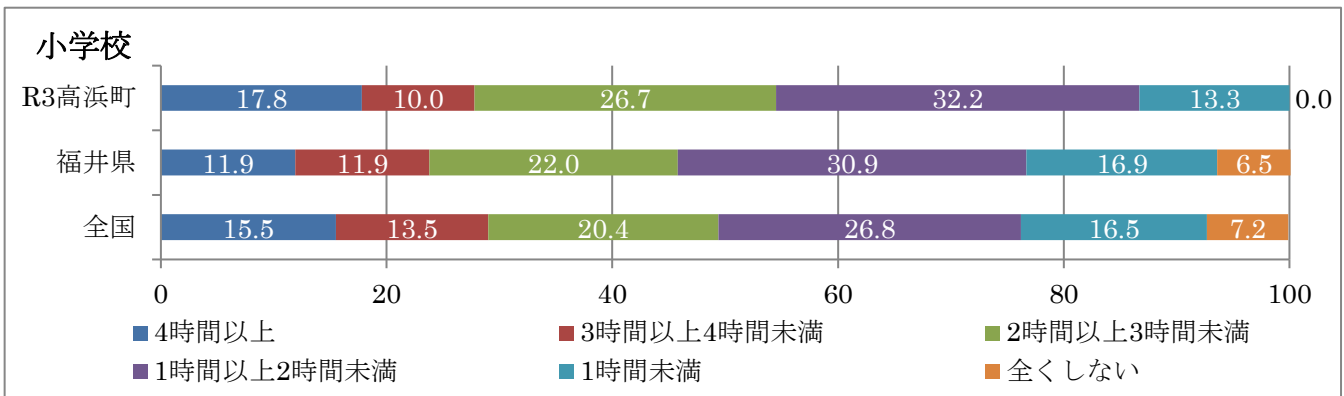
◆学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい読書をしているか



○小学校・中学校ともに、読書をする児童生徒の割合は全国・県平均とほぼ同じとなっています。中学校においては、読書時間が全国・県平均および前回調査時と比べると短くなっています。

ゲーム時間に関する調査結果

◆1日あたりどれくらいの時間テレビゲーム（PC、携帯やスマートフォン含む）をしているか

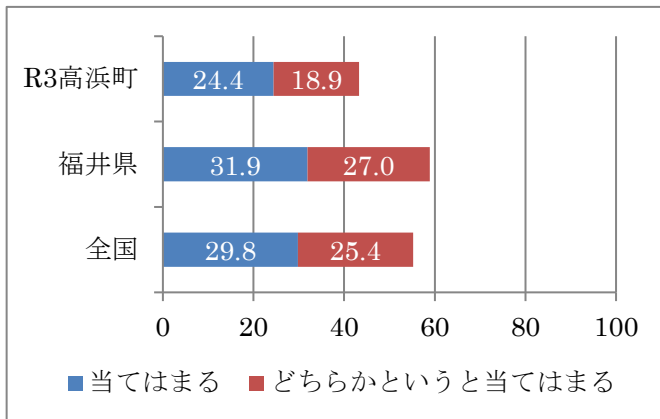


○小学校・中学校ともに全国・県平均より長時間ゲームをする児童生徒の割合が高くなっています。

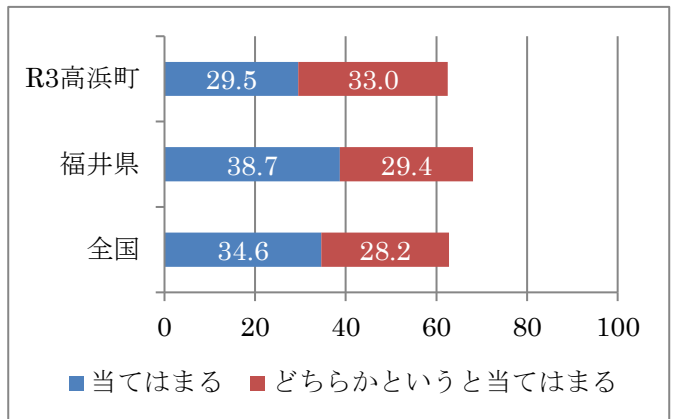
コロナによる休校期間中に関する調査結果

【勉強に不安を感じたか】

小学校



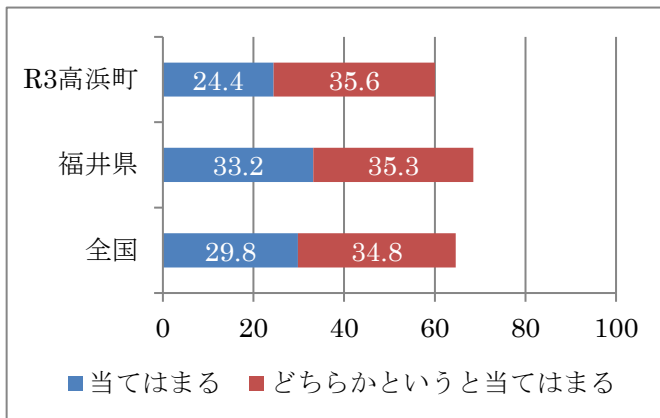
中学校



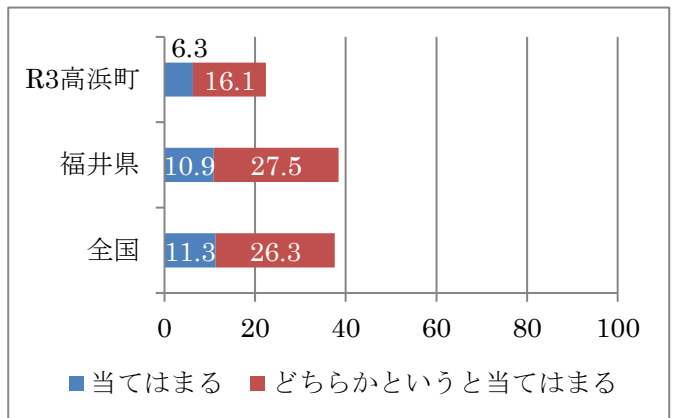
○小学校・中学校ともに、不安を感じた児童生徒は全国・県平均を下回ってはいますが、小学校においては半数近く、中学校は半数以上が勉強に不安を感じていました。

【計画的に学習を続けることができたか】

小学校



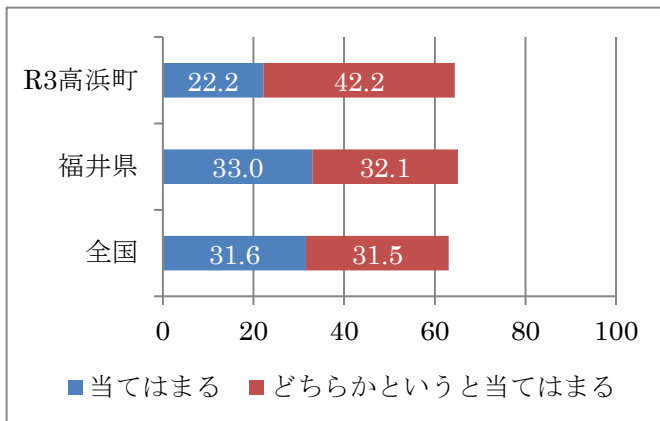
中学校



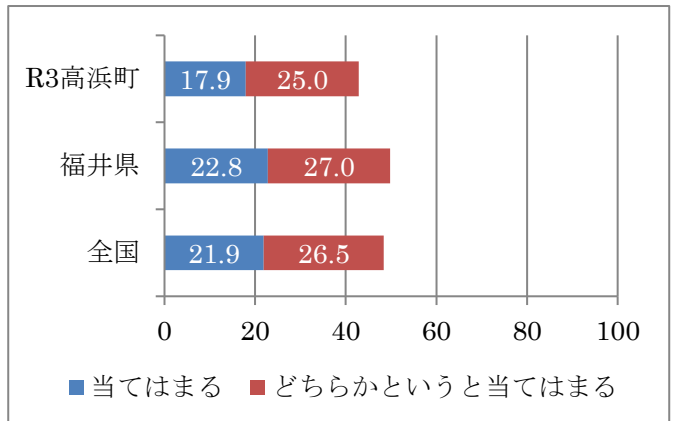
○小学校・中学校ともに、全国・県平均を下回り、休校時における家庭学習のサポートの必要性がうかがえます。

【規則正しい生活を送っていたか】

小学校



中学校

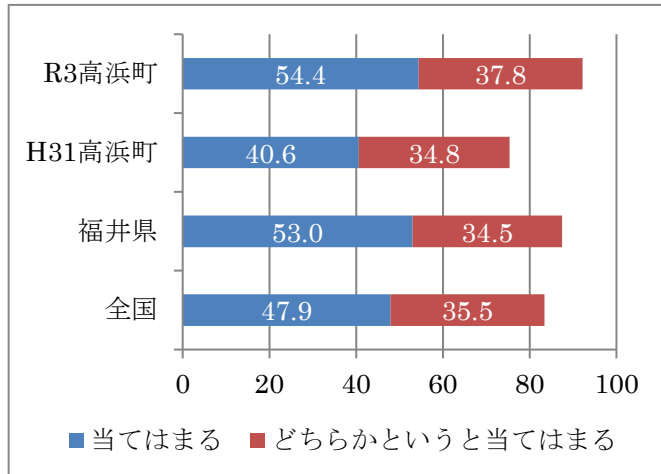


○小学校・中学校ともに「生活習慣に関する調査結果」を大きく下回る結果となり、長期休校時の生活習慣の乱れが目立ちます。

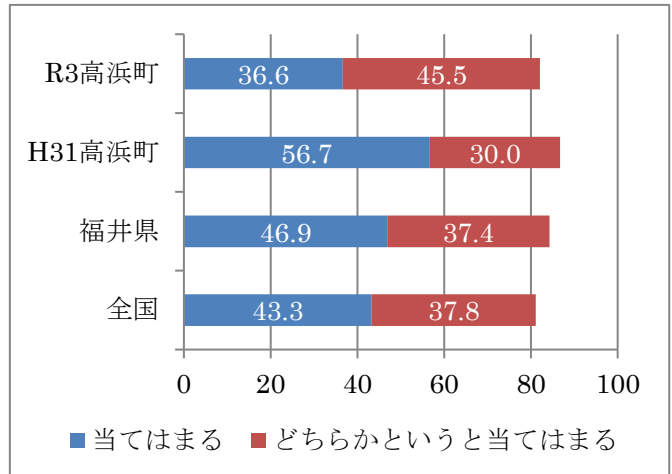
学校生活、地域との関わりに関する調査結果

【学校に行くのは楽しいと思うか】

小学校



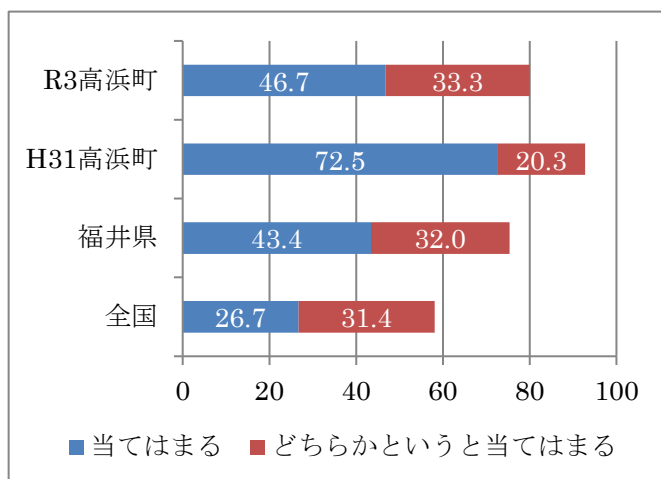
中学校



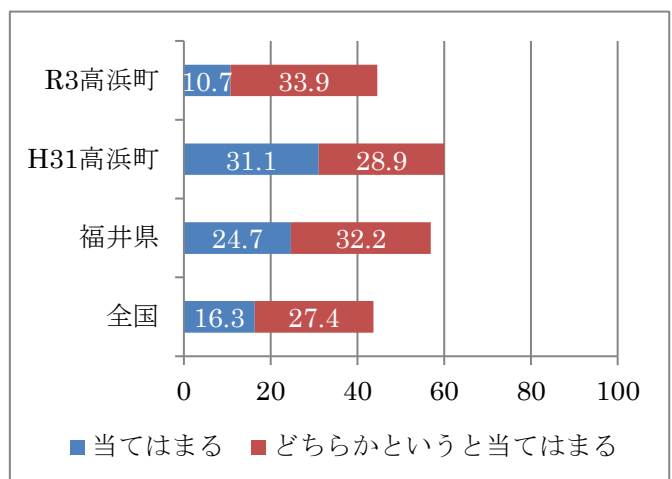
○小学校においては、全国・県平均を上回り、なおかつH31年度と比較しても学校に行くのは楽しいと感じている児童が増えています。中学校では、全国・県平均とほぼ変わらないものの、H31年度と比較すると学校に行くのは楽しいと感じている生徒は減少しています。

【地域の行事に参加しているか】

小学校



中学校



○小学校においては、全国・県平均を上回り、地域とのつながりが見られますが、中学校になると数値は一気に減少し、小学校から中学校へ上がるにつれ地域とのつながりに対する意識の希薄さが表れています。(H31年度は高浜七年祭が執り行われたこともあり、小学校・中学校ともに数値は増加しています。)

保護者のみなさまへ ~ ご協力をお願いします ~

- 「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムが身に付くようにしましょう。
- 学校のできごとなど、子どもの話に耳を傾けて聞きましょう。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう意識づけましょう。
- 自分からすすんで勉強できる環境づくりをしましょう。
- 家族で読書を楽しむ工夫をしましょう。
- ゲームやテレビ、スマートフォンや携帯電話の使用ルールを決めましょう。
- 家族で地域の行事に積極的に参加しましょう。

正しい習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつけることが、学力向上につながります。

